

## 広島県 広島・大竹・廿日市・江田島圏域 総合水産基盤整備事業計画 (R4~R8)

### 1. 圏域の概要

#### (1) 水産業の概要

##### ① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

当圏域は、広島湾周辺に位置する大竹市、廿日市市、広島市、江田島市、安芸郡海田町及び安芸郡坂町を対象としており、政令市の広島市をはじめ、本県の人口の約半分が集中している。また、流通拠点である第三種草津漁港の背後には広島市中央卸売市場があり、水産物の陸揚げ及び集積拠点としての役割を担っている。一方、漁場と消費地が近接していることから、産地市場は発達していない。

圏域内には 25 組合が所在している。小規模な組合が多く、経営基盤強化のため合併に向けた協議も行われてきたが、具体的な計画に至っていない。

##### ② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

当圏域では、小型漁船を使用して船びき網漁業、小型底びき網漁業、刺し網漁業、採貝・採藻漁業など小規模かつ多様な漁業が営まれている。

市町別統計値が公表されている H30 年度農林水産統計では、個人経営の零細漁業が多い中、企業的経営が行われているいわし船びき網漁業を含む船びき網漁業の漁獲量が 10,478 トンと圏域全体の漁船漁業漁獲量の約 9 割を占めている。また、魚種別ではいわし船びき網漁業の漁獲対象となっているカタクチイワシ及びシラスの漁獲量が、9,837 トンと 85% を占め、その他にマダイ 110 トン、クロダイ 94 トン、コノシロ 84 トンとなっている。

個人経営体の主要な漁業種類となっている小型底びき網漁業、刺し網漁業及び釣り漁業などについては、過去 5 年で漁獲量が約 6 割に減じるなど厳しい状況にあり、これらの漁獲対象となり、比較的単価の高いキジハタ、オニオコゼ、ガザミ、ヒラメ、マコガレイなどの種苗放流が継続的に行われている。

##### ③ 水産物の流通・加工の状況

人口が集中する広島都市圏に近接していることから、かき養殖やいわし船びき網漁業以外の漁獲物は、産地市場や仲買業者などを經由することなく、広島市中央卸売市場へ直接あるいは水揚げ港等で集荷して運搬船又はトラック等で出荷されることが多い。また、江田島市の漁獲物の一部は呉地方卸売市場にも出荷されている。零細な経営体が多いことから、浜売りや飲食店などに直接販売されることも多い。

いわし船びき網漁業の漁獲物については、加工場に直接水揚げされ、煮干加工を行った後、広島県漁業協同組合連合会の共販に出荷されるが、一部は直接、問屋や市場などへ出荷されている。

煮干加工施設を利用して、乾燥かきや乾燥なまこの加工も行われており、中国な

どへ輸出されている。

かき養殖については、各生産者が有する加工場に直接水揚げされ、むき身加工などされた後、仲買業者により集荷され、むき身や殻付きの状態で生鮮食材として全国に流通している他、IQF やカキフライ等の冷凍食材に加工されて全国に流通されている。また、漁業協同組合で集荷を行い、豊洲市場などへ出荷されている例もある。

#### ④養殖業の状況

圏域は県内でも最もかき養殖が盛んな地域であり、県生産量の約7割に当たる68,698 トンを生産している。また、ハマチやマダイ等の魚類養殖、地まき式のあさり養殖も行われている。

かき養殖については、圏域内のほぼ全域で行われており、採苗から抑制、筏養殖、収穫までの養殖行程のほとんどが圏域内で完結している。一部では人工種苗や他県産の種苗も用いられているが、本県で用いられる種苗のほとんどは当圏域内で採取された天然種苗であり、採苗の好不調が翌年以降の生産量に直結するため、種苗の安定確保に向けた調査研究が行われている。

魚類養殖は大竹市阿多田島で行われており、ハマチ(100 トン)やマダイ(200 トン)の他、ニジマスの海面養殖も行われており、本県が全国で最も生産量が多いレモンを活用した取組も行われている。

廿日市市の本土と厳島の間位置する大野瀬戸の干潟には、第3種区画漁業権が設定されており、アサリの地まき式養殖が行われている。

#### ⑤漁業経営体、漁業就業者(組合員等)の状況

漁業経営体数は824で、海面養殖219、刺し網131、小型底びき網80、採貝・採藻68、船びき網21などとなっており、5年前と比べ約15%(143経営体)減少している。いわし船びき網を除く漁船漁業のほとんどは、個人経営の零細漁業であり、高齢化も進行していることから、今後も減少傾向が続くものと考えている。

#### ⑥水産業の発展のための取り組み

かき養殖については、全国一の生産量を誇る広島かきがブランドになっている他、各組合や生産者などが養殖方法や鮮度保持の方法などに工夫を凝らし、独自にブランド化を図っている。また、令和3年度には、地御前漁業協同組合がMEL認証を取得するなど、国内取引だけでなく海外輸出にも通用する水産エコラベルの取得に向けた取組を行い、競争力の強化を図っている。

大野瀬戸で生産されている「大野あさり」は、品質や環境保全に向けた取組が評価され、令和元年に地理的表示(GI)保護制度に登録されている。引き続き、水産

多面的機能発揮対策事業を活用するなどして干潟環境の保全や資源の持続的利用を行い、ブランド力の強化を図っている。

大竹市阿多田島では、本県特産のレモンを養殖餌料に加えて育成した養殖ハマチ及びニジマスにそれぞれ「あたたハマチ to レモン」、「広島レモンサーモン」と命名し、主に県内販売において高い評価を得ている。

当圏域の市町に呉市を加えた5市1町で連携し、広島湾で生産されるメバル、こいわし（カタクチイワシ）、オニオコゼ、アサリ、クロダイ、カキ、アナゴの7種を「広島湾七大海の幸」と称し、レシピコンテストの開催など認知度を高める取組を行い消費の拡大を図っている。

### ⑦水産基盤整備に関する課題

- ・漁港施設の機能を健全に維持するため、引き続き、施設の長寿命化に向けた取組みの推進や、更新コストの平準化・縮減等を検討する必要がある。

- ・また、東日本大震災を受け、特に流通拠点における漁港施設の耐震・耐津波機能が求められており、これまでの診断結果を踏まえた対策工事が必要である。（第三種草津漁港）

- ・漁港施設用地において、未利用や低利用な箇所があり、有効活用策の検討が必要である。

- ・生産性が高い海域であるが、夏場の貧酸素状態の発生などによる環境悪化が問題視されている。

- ・当該海域では、藻場を形成する岩盤域が少ない上、本土部沿岸域を中心に、浅海域の環境悪化により藻場が衰退しており、重要魚種であるキジハタ等の仔稚魚期の生息環境が整っていない。

- ・かき養殖では、近年、採苗不調による生産の不安定化や、海水温の上昇によるへい死、生育不良が発生しているため、漁場環境を迅速に把握し、得られたデータを蓄積・活用する養殖体制の確立が求められている。

### ⑧将来的な漁港機能の集約化

- ・今後、漁港施設の統合や廃止、同一漁港内での機能再編の実施は予定していない。

- ・集・出荷機能としては、従来どおり流通輸出拠点漁港である草津漁港、港湾拠点の呉港に水産物を集約する。準備機能区分としては、塩屋漁港の給油施設を共同利用として継続する。増養殖・畜養殖強化機能としては、阿多田漁港で養殖した魚を阿多田・玖波漁港において試食イベントを開催・販売を継続して実施する。

## (2)圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	流通拠点型	設定理由；
---------	-------	-------

		<p>カキ養殖が中心であるが、その他の漁獲物の多くは、広島市中央卸売市場を有する草津漁港に集約される。</p>
② 圏域範囲	大竹市，廿日市市，広島市，江田島市，海田町，坂町	<p>設定理由；</p> <p>拠点港である草津漁港への水産物の集約が及ぶ範囲である。</p>
③ 流通拠点漁港	草津漁港	<p>設定理由；</p> <p>漁港背後には、産地市場である広島市中央卸売市場を有し、水産物の陸揚及び集積拠点として機能しており、取扱量 2,676 t，属地陸揚金額 30 億円である。</p> <p>また、平成 23 年度から漁業者直営の「かき小屋」を出店するなど、広島かきの積極的な販売に寄与している。</p> <p>衛生管理水準については、かき類，鮮魚いずれも L2 を満足している。</p> <p>陸揚げ岸壁（橋台部）の耐震化については、既存施設の老朽化対策と併せて実施完了。今後はかき加工場の機能を保持するために必要な栈橋の耐震化を図る。</p>
④ 生産拠点漁港	塩屋漁港	<p>設定理由；</p> <p>利用漁船数 204 隻，属地陸揚金額 7.8 億円。</p> <p>かき養殖が盛んな漁港であり、また「大野あさり」のブランド化に成功しており、今後も中核的な生産拠点として期待できる。</p> <p>また、広島かきの新たなブランドとして開発した「一粒かき」の共同出荷体制の拠点としても期待されている。</p> <p>今後、漁港利用者の避難対策を確立する。</p>
	地御前漁港	<p>設定理由；</p> <p>利用漁船数 74 隻，属地陸揚金額 11.0</p>

		<p>億円。</p> <p>かき養殖が盛んな漁港であり、「地御前かき」のブランド化に成功しており、今後も中核的な生産拠点として期待できる。</p> <p>また、広島かきの新たなブランドとして開発した「一粒かき」の共同出荷体制の拠点としても期待されている。今後、漁港利用者の避難対策を確立する。</p>
⑤ 輸出 拠点漁港	地御前漁港	<p>設定理由；</p> <p>陸揚量 6,552 t，栽培養殖魚種 6,548 t。</p> <p>「地御前かき」のブランド化に成功しており、今後も中核的な生産拠点としての活躍が期待できる。</p> <p>また、広島かきの新たなブランドとして開発した「一粒かき」の共同出荷体制の拠点として期待されている。</p>
	草津漁港	<p>設定理由；</p> <p>陸揚量 2,676 t，栽培養殖魚種 743 t。</p> <p>漁港背後には、産地市場である広島市中央卸売市場を有し、水産物の陸揚及び集積拠点として機能しており、県内外の加工場・消費地への出荷を行っている。</p> <p>衛生管理水準については、かき類、鮮魚いずれも L2 を満足している。</p>

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	40,128
圏域の総漁港数	14
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	—

圏域の登録漁船隻数(隻)	969
圏域内で該当する漁港数	—
圏域内での輸出取扱量(トン)	—

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	広島 設定理由；1地域で同一魚種を大規模に養殖生産しているため。
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	かき
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量（収穫量）(トン)	50,968 トン（殻付き）
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	9,458 百万円

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	江田島 設定理由；1地域で同一魚種を大規模に養殖生産しているため。
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	かき
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量（収穫量）(トン)	21,262 トン（殻付き）
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	3,946 百万円

## 2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

#### ①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

かき養殖については、生産量全国第1位であり、生産の約6割を冷凍かき等の加工用が占めている。一方で、約4割の生鮮用は国内市場が縮小傾向にあり、広島かきとしてのブランド力を高める必要がある。

輸出促進に向けては、新たにEU輸出に対応できるよう、指定海域のモニタリング体制の構築や、県内の流通・加工業者と連携した輸出体制の強化を推進していく。

養殖場や水産加工場と密接に関連している漁港施設を一体的に整備、機能を強化することにより、水産物の安定供給体制の構築をさせ更なる拠点の機能強化を図る。

流通拠点漁港である草津漁港の衛生管理基準については、かき類、鮮魚いずれもL2を満足している。今後は、衛生管理に対する総合的管理体制を確立させL3を目指す。

#### ②養殖生産拠点の形成

生食用殻付きかきについては、海外需要の拡大が見込まれており、国内需要にも対応しつつ、輸出量を増加させるには、生産の安定化が必要不可欠である。一方で、近年、採苗不調やへい死等により生産が不安定化しているため、かき養殖に必要な漁場

環境データや生産情報等を集積・活用するシステムを構築し、広島かきの生産安定化を図る。

## (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

### ①環境変化に適応した漁場生産力の強化

藻場・干潟の減少等の環境悪化により、現状の資源量は少なくなっていると考えられることから、自然増加量も小さくなっていることが推察され、これに伴い漁獲量も減少している。

そのため、放流効果が高い地先定着型魚種であるオニオコゼ、キジハタ等を継続的に放流するとともに、稚魚の育成場となる増殖場（藻場）の整備によって、生息適地の拡大や改善、餌料環境の改善を行う。藻場のモニタリングについては、増殖場の整備海域や本圏域を含む県内全海域を対象に適時実施し、実施結果を踏まえ、県、市町、漁業関係団体、教育・研究機関等の関係機関で評価・検証し、効果的な藻場保全に取り組む。

また、改正漁業法に基づく新たな資源管理体制へと速やかに移行させ、実効性の高い資源管理を推進し、資源の増大を図る。

### ②災害リスクへの対応力強化

草津漁港においては、県内唯一の第三種漁港であり、背後には広島市中央卸売市場を有する流通拠点漁港であるが、所要の設計震度（レベル2地震動）を満足していない状況である。平成28年度から施設の耐震対策工事を実施し、平成30年度に一部完了した。令和4年度以降はかき加工場の機能を保持するために必要な栈橋の耐震化を図る。

また、BCP策定については、草津漁港背後にある広島市中央卸売市場の全面建て替え及び、施設の再配置等が検討されているため、策定に至っていない。策定・運用に向けて調整を行う必要がある。

阿多田漁港においては、健全度Aの漁港施設の機能保全は完了している。今後は健全度Bの漁港施設を予防保全として老朽化対策を推進させる。また、漁業集落排水施設についても、管路の更新や浄化センターの施設修繕の予防保全を実施する。

## (3) 「<sup>うみぎょう</sup>海業」振興と多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上

### ①「<sup>うみぎょう</sup>海業」による漁村の活性化

阿多田漁港において、島民の人口は年々減少しているが、近年は海上釣堀や釣り大会などが実施され、多くの観光客で賑わってきており、離島航路を維持するためには観光客の来島が求められる。このため、観光客が安全、快適に乗降できるようにフェリー及び海上釣堀が利用する係留施設を整備することが必要となっている。整備する

ことにより、観光客の安全な利用を確保し、地域のにぎわいや所得機会の増大を図る。

## ②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

当圏域における漁村では人口の減少や高齢化が進んでいるが、女性や若者から高齢者までの幅広い世代が水産業を軸に産業の維持・活性化に取り組んでいる。漁業集落排水施設は老朽化が進行しており、令和2年度にはマンホールポンプ圧送管が破裂する等の問題が生じているため、漁業従事者が安全で働きやすい環境と生活環境の改善を図る。

### 3. 目標達成のための具体的な施策

#### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

##### ①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
草津地区	流通機能強化	水産基盤整備事業 (機能強化)	草津漁港	3種	草津漁港

##### ・具体的施策

草津漁港は県内唯一の第3種漁港として、県内最大の水揚げを誇り、漁獲物の広域的な流通機能を担っており、中央卸売市場が背後にあることから、多くの漁業関係者が従事しており、県内で最も重要な漁港である。

広島県の特産であるかきの加工場が立地してあるかき加工棧橋の耐震・耐津波化を実施することで、養殖漁業における活動及び生産を向上させるとともに人命を確保する。また、並行してBCP策定・運用に向けて調整を行い、被災後直ちに漁業活動や水産物流通機能を維持・継続させる。

##### ②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
—	養殖拠点	県単独事業	—	—	—

##### ・具体的施策

広島湾を中心とした本県かき養殖海域において、水温・餌料センサーを設置し、汎用クラウドを利用したデータの蓄積、生産者が入出力可能なアプリ開発を合わせて行い、かき養殖に必要な漁場環境データを収集・活用するシステム整備を行う。

#### (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

##### ①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名



中西部・備後燧地区	藻場・干潟	水産環境整備事業
-----------	-------	----------

・具体的施策

沿岸域の環境悪化により藻場が衰退している海域において、キジハタ等重要魚種の生息環境を改善させるため、マスタープラン及び藻場ビジョンに基づき、対象魚種の生活史や藻場の分布特性を考慮した、着定基質（藻場礁、餌料培養礁）の設置を行い、ガラモ場造成を行う。整備後のモニタリングを実施し、適切に維持管理することで、実効性の高い藻場保全・創造対策を行う。

これに加え、漁業者主体の資源管理の推進や、整備施設を活用した種苗放流を行い、水産資源の底上げを目指す。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
草津地区	早期再開	水産基盤整備事業（機能強化）	草津漁港	3種	草津漁港

・具体的施策

草津漁港は県内唯一の第3種漁港として、県内最大の水揚げを誇り、漁獲物の広域的な流通機能を担っており、中央卸売市場が背後にあることから、多くの漁業関係者が従事しており、県内で最も重要な漁港である。

広島県の特産であるかきの加工場が立地してあるかき加工栈橋の耐震・耐津波化を実施することで、養殖漁業における活動及び生産を向上させるとともに人命を確保する。また、並行してBCP策定・運用に向けて調整を行い、被災後直ちに漁業活動や水産物流通機能を維持・継続させる。

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
大竹市（離島）	予防保全	水産基盤整備事業（機能保全・漁村整備）	阿多田漁港	2種	草津漁港

・具体的施策

阿多田漁港は瀬戸内海に浮かぶ離島であり、島民のほとんどが漁業に従事し、養殖漁獲量（ブリ類・真鯛）は県内第1位となっており、あたたハマチのブランド化や水産物の直売など地域活性化を目指した取り組みを行っている。

離島である当漁港の係留施設は重要度が高く、施設の長寿命化が求められるため、

予防保全として浮棧橋の保全、係留チェーンの更新等を実施する。

また、漁業集落排水施設についても、老朽化が進んでいるため、施設を長寿命化させることが課題となっている。管路の更新や浄化センターの施設修繕の予防保全を実施することで施設の長寿命化・延命化を図るとともにライフサイクルコストを削減させる。

### (3) 「<sup>うみぎょう</sup>海業」振興と多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上

#### ① 「<sup>うみぎょう</sup>海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
阿多田漁港 阿多田地区	地域活性化	地方創生港整備推進交付金	阿多田漁港	2種	草津漁港

##### ・具体的施策

阿多田漁港が所在する阿多田島では海上釣堀や釣り大会などが実施され、多くの観光客で賑わってきている。海上釣堀を利用する船舶とフェリーは同一の浮棧橋を利用しており、その浮棧橋も老朽化が進行してきている。また、フェリーを更新することも計画されている。観光客が安全、快適に乗降できるように更新するフェリーに対応した浮棧橋を整備することで地域のにぎわいや所得機会の増大を図る。

#### ②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
阿多田漁港 阿多田地区	就労環境	水産基盤整備事業（漁村整備）	阿多田漁港	2	草津漁港

##### ・具体的施策

人口の減少や高齢化が進んでいるが、女性や若者から高齢者までの幅広い世代が水産業を軸に産業の維持・活性化に取り組んでいる。漁業集落排水施設は老朽化が進行しており、令和2年度にはマンホールポンプ圧送管が破裂する等の問題が生じている。管路施設や処理施設の補修を実施することで、漁業従事者が安全で働きやすい環境と生活環境の改善を図る。

## 4. 環境への配慮事項

### ①沿岸域環境の現状

広島湾北部沿岸など富栄養海域では、夏場の貧酸素状態の発生も恒常化してい

る。沿岸部の藻場・干潟は少なく、自然の浄化能力がかなり低下している。

②整備により予測される環境への負荷の程度

工事に伴う濁りの影響については、汚濁防止膜の展張等により周辺環境に与える影響は必要最小限にとどめる。

③悪化した自然環境を改善するための取組

底質の悪化したカキ養殖漁場について耕うんを行い、機能回復を図る。

④リサイクル材の活用

人工礁の機種選定にあたっては、かき殻などのリサイクル材を活用したものを積極的に採用する。

## 5. 水産物流通圏域図

# 広島県(広島・大竹・廿日市・江田島圏域) 水産物流通圏域図

